

来たる、2017年4月3日、6月15日下関市川棚温泉交流センター 川棚の杜・コルトーホールにて、「第8回 川棚・コルトー音楽祭」を開催する運びとなりました。つきましては、イベント情報のご掲載ならびに取材・記事掲載をご検討いただけますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 第8回 川棚・コルトー音楽祭

日時： 2017年4月3日（月）19時15分～

『京都フランス音楽アカデミー特別演奏会 オリヴィエ・シャルリエ&ピエール・レアク』

2017年6月15日（木）11時～『コルトーを偲ぶ会～アルフレッド・コルトー没後55年～』

会場： 下関市川棚温泉交流センター 大交流室（川棚の杜・コルトーホール）

主催： コルトー音楽祭実行委員会、川棚温泉まちづくり株式会社

協賛： 株式会社河合楽器製作所

制作協力： 京都フランス音楽アカデミー実行委員会、アンスティチュ・フランセ関西

後援： 下関市、下関市教育委員会、日本ショパン協会、豊浦町観光協会、川棚温泉観光協会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、山口新聞社

### ■ アルフレッド・コルトーと川棚の物語

20世紀を代表するフランス人ピアニストアルフレッド・コルトーは、1952年、最初で最後となった日本ツアーの下関・宇部公演の際に、川棚温泉に滞在し、「こんな美しい夢のような風景は見たことがない。日本はプレ・ペイ（本当の国だ）」と絶賛。とりわけ響灘に浮かぶ厚島に魅せられ、この地への永住を望み「私の思いはひとりあの島に残るだろう」と語りましたが、永住はついに叶わず他界。コルトーが愛した厚島はいま、彼の名前にちなんで「孤留島（こるとう）」とも呼ばれています。そして2010年、コルトーが滞在した川棚観光ホテル東館跡地に「川棚の杜・コルトーホール（川棚温泉観光センター大交流室）」※が誕生し、毎年「川棚・コルトー音楽祭」が開催されています。



コルトーが宿泊した川棚観光ホテルの部屋と同じ場所（現：川棚の杜・杜の広場）に、市民の寄付により建立されたコルトーの胸像と記念プレート



川棚から眺めた厚島（孤留島）



1952年10月7日から3泊滞在した川棚観光ホテル（現在の川棚の杜・コルトーホール）の自室におけるコルトー

※ 日仏交流150周年にあたる2008年11月下関市とエコール・ノルマル音楽院とのパートナーシップが締結され、川棚との交流を強固にするとともに、川棚の杜のホールに「コルトーホール」と命名する許可を得ました。

※川棚・コルトー音楽祭について、次項の新聞記事もご参照ください

**プレスリリースに関するお問合せ先** ※画像データご入り用の場合も下記へ

川棚温泉まちづくり株式会社（下関市川棚温泉交流センター指定管理者）担当：増田玲子 masuda@kawatana.com

〒759-6301 山口県下関市豊浦町大字川棚 5180 Tel.083-774-3855 Fax.083-774-3856 kawatananomori.com







●京都フランス音楽アカデミー特別演奏会  
オリヴィエ・シャルリエ（ヴァイオリン） & ピエール・レアク（ピアノ）

コルトーが設立したパリ・エコール・ノルマル音楽院と教育提携をする京都フランス音楽アカデミーの協力を得て、招聘教授のなかから二人を川棚に迎えます。第6回の出演で絶賛を博し、今輝かしい円熟期を迎えるヴァイオリニストのオリヴィエ・シャルリエ氏が再登場。共演は、名ピアニストで名教授、日本をこよなく愛するピエール・レアク氏です。メインプログラムは、第6回と同じく「フランク：ヴァイオリン・ソナタ」。コルトーの名録が有名な、フランス系ヴァイオリン・ソナタの最高傑作です。本州最西端の小さな温泉街で催す、現代フランス最高峰の名手による至高の室内楽コンサートにご期待下さい。

日時：2017年4月3日（月）19：15 開演（18：45 開場） 21：00 終演予定

会場：下関市川棚温泉交流センター 大交流室（川棚の杜・コルトーホール）

入場料：全席自由 前売り一般 3,500 円 高校生以下 1,500 円（当日各 500 円増）

対象：一般 学生 ※未就学児童入場不可

出演：オリヴィエ・シャルリエ（ヴァイオリン）Olivier Charlier, violin  
ピエール・レアク（ピアノ）Pierre Réach, piano

曲目：F. シューベルト／ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ第1番 ニ長調 D384 op. 137-1  
J. ブラームス／ヴァイオリン・ソナタ第3番 ニ短調 op. 108  
C. フランク／ヴァイオリン・ソナタ イ長調

お問合せ・チケット：川棚温泉まちづくり株式会社 Tel. 083-774-3855

■出演者プロフィール



オリヴィエ・シャルリエ Olivier Charlier ヴァイオリン

熟達した技法と独特の存在感で、今や輝かしい円熟期を迎えるヴァイオリニスト。10歳でパリ国立高等音楽院に入学しナディア・ブーランジェ、ユードィ・メニューインらに師事。若くしてミュンヘン、ロン＝ティボー等の国際コンクールで次々に受賞を重ねる。以来30年以上、世界中で演奏活動を行う。多数の協奏曲の名曲をレパートリーに数える一方、知られざる作曲家の作品も積極的に演奏・録音。室内楽にも熱心で、ラ・ロック・ダンテロン、ブラード・カザルス、モンペリエ、ラ・フォル・ジュルネ等、多くの音楽祭に定期的に参加。ドゥカンやユボーら自身の師たちに続き、パリ国立高等音楽院にて教鞭をとる。使用楽器は1747年製カルロ・ベルゴンツィ。



ピエール・レアク Pierre Réach ピアノ

各地で演奏会やマスタークラスを行い、ピアノ・ピックフェスティバル（フランス）やヴィラセカフェスティバル（スペイン）の創設者兼ディレクターとしても活躍。オリヴィエ・メシアンコンクール第1位、自身の師の名を冠したアルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノコンクール入賞などの受賞歴を持つ一方、Y. ルフェビュール、Y. ロリオ、P. B. = スコダ等のもとで研鑽を積んだ。多くの著名オーケストラと共演、室内楽では G. ホフマン、G. プーレ、P. アモイヤル等と共演。バッハ「ゴルトベルク変奏曲」の演奏は高く評価され多数のCDを録音。現在パリ地方音楽院およびカタルーニャ高等音楽院教授、上海音楽学院名誉教授。15年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受章。

プレスリリースに関するお問合せ先 ※画像データご入り用の場合も下記へ

川棚温泉まちづくり株式会社（下関市川棚温泉交流センター指定管理者）担当：増田玲子 masuda@kawatana.com

〒759-6301 山口県下関市豊浦町大字川棚 5180 Tel.083-774-3855 Fax.083-774-3856 kawatananomori.com

2017/1/6 プレスリリース「第8回 川棚・コルトー音楽祭」

●コルトーを偲ぶ会～アルフレッド・コルトー没後 55 年～

日 時：2017 年 6 月 15 日（木）11：00～12：00

会 場：下関市川棚温泉交流センター 大交流室（川棚の杜・コルトーホール）

会 費：500 円

対 象：一般 学生 ※未就学児童入場可

内 容：参列者によるコルトー胸像への献花、川田健太郎（ピアノ）ミニコンサート、茶話会 を予定

【演奏曲目】ショパン：前奏曲「雨だれ」・舟歌／チャイコフスキー：舟歌 他

お問合せ・ご予約：川棚温泉まちづくり株式会社 Tel.083-774-3855

■出演者プロフィール



川田健太郎（ピアノ） Kentaro Kawada

8 歳よりピアノを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業後、チャイコフスキー記念モスクワ国立音楽院本科卒業。在学中にロームミュージックファンデーション奨学生となる。第 15 回セルゲイ・ラフマニノフ国際ピアノコンクール、ファイナリスト等受賞多数。ソリストとして、ワルシャワ国立フィル、東京フィル、神奈川フィル、仙台フィル、大阪フィル等と共演。学生時代より、活発な演奏活動を開始し、近年では、全国各地での演奏活動の他、映画「のだめカンタービレ 最終楽章 前編&後編」、NHK ドラマスペシャル「心の糸」等で劇中ピアノ演奏、手元吹き替え演奏、演奏指導等を担当。ミュージカル舞台では、2014 年、手塚治虫原作 音楽劇「ルードウィヒ・B ベートーヴェン ～歓喜のうた～」にて、東京&大阪全 23 公演のバンドマスター兼ピアニストとして演奏、指揮を担当、様々な音楽シーンでジャンルを越えて活躍。2016 年、自主企画の音楽祭を川棚の杜・コルトーホール（山口県下関市）で立ち上げ、第 1 回「音楽ノカ」を 2 日間に渡り開催。幅広い客層へ多彩なジャンルの音楽を発信するエンターテインメントとして好評を得た。若い芸術家への活動支援、奨学金授与を目的とした NPO 法人「芸術・文化

若い芽を育てる会」の発足に関わり、社団構成員としても活動。2013 年より上野学園大学音楽学部ピアノ科講師（中学、高校含む）、並びに横山幸雄教授、田部京子教授クラスアシスタントを兼任し、後進の指導にも力を注いでいる。

＜これまでの「コルトーを偲ぶ会」のようす＞

Photo：Manabu Hieda



参列者によって献花されたコルトー胸像



左：茶話会

右：コルトーが好きだったというレモンティを毎年ふるまう

※最近のコンサート・偲ぶ会のようすについて、次項の新聞記事もご参照ください

プレスリリースに関するお問合せ先 ※画像データご入り用の場合も下記へ

川棚温泉まちづくり株式会社（下関市川棚温泉交流センター指定管理者）担当：増田玲子 masuda@kawatana.com

〒759-6301 山口県下関市豊浦町大字川棚 5180 Tel.083-774-3855 Fax.083-774-3856 kawatananomori.com



<朝日新聞 下関版 2015. 4.

▼朝日新聞 下関版 2016. 6. 16

2015. 4 朝日

## コルトー音楽祭 仏総領事も鑑賞

### 川棚で特別演奏会

第6回川棚・コルトー音楽祭「京都フランス音楽アカデミー特別演奏会」が2日夜、下関市川棚温泉交流センターコルトーホールであり、パリ国立高等音楽院教授のオリヴィエ・シャル



リエさん（バイオリン）と新居由佳梨さん（ピアノ）が共演。情感あふれる演奏で観客を魅了した。

フランスの世界的ピアニスト、アルフレッド・コルトー（1877〜1962）の命日の15日、ゆかりの地の下関市川棚温泉交流センター・川棚の杜で「コルトーを偲ぶ会」があった。参加者約50人がコルトーの胸像に献花し、川棚を愛した音楽家を追悼した。コルトーは1952年に初めて最後の日本公演を行った際、県内では宇部市と下関市で演奏した。その際、川棚

スト、アルフレッド・コルトー（1877〜1962）が下関・宇部公演の際に滞在し、思いをこめたと話した。川棚温泉。今年の音楽祭は

初めてシャルランリ・ブローネー在京都フランス総領事が鑑賞した。

終了後のレセプションで、ブローネー総領事は「コルトーが好きだった島があると聞き、ぜひ見たいと思っていた。コルトーに対するみなさんの心遣いに感謝している。京都フランス音楽アカデミーと今後ますます友情を深めていきたい」とあいさつ。シャルリエさんは「コルトーの思い出を感じ、私にとって特別な出来事だった」と語った。（貞松慎一郎）

下関 13版S 2016年(平成28年)6月16日 木曜日 享月

## 川棚愛した音楽家コルトー追悼

フランスの世界的ピアニスト、アルフレッド・コルトー（1877〜1962）の命日の15日、ゆかりの地の下関市川棚温泉交流センター・川棚の杜で「コルトーを偲ぶ会」があった。参加者約50人がコルトーの胸像に献花し、川棚を愛した音楽家を追悼した。コルトーは1952年に初めて最後の日本公演を行った際、県内では宇部市と下関市で演奏した。その際、川棚

### 命日に50人献花

温泉に滞在したコルトーは沖合に浮かぶ厚島の美しさに魅せられ、「買い取りたい」と要望。当時の川棚村長は「永住してくれるなら無償で差し上げます」と約束し、島は「孤留島」と名付けられたとのエピソードが残る。

この日は、コルトーが創設したパリ・エコール・ノルマル音楽院を卒業したピアニスト塩見貴子さんが、「ノクターン」（ショパン作曲）などコルトーゆかりの6曲を演奏。参加者たちはピアノの美しい音色に聴き入っていた。（白石昌幸）




▼2016. 4. 8 山口新聞

2016. 4. 8 yamaguchi

## 川棚・コルトー音楽祭弦楽三重奏

川棚・コルトー音楽祭がこのほど、豊浦町の川棚温泉交流センター川棚の杜・コルトーホールであり、約160人が弦楽三重奏に酔いしれた。実行委員会など主催、山口新聞など後援。長年トリオを組むバイオリンのレジス・パスキエさん、ビオラのブルーノ・パスキエさん、チェロのロラン・ピドゥさん、ベートーの「セレナード」第2調、モーツァルトの「ディベルティメント変ホ長調」を演奏。レジスさんとブルーノさんは兄弟で、2人の父と親交が深かったフランス人作曲家、ジャン・フランセが2人の父に贈った「弦楽三重奏曲」も披露した。

2人の父はコルトーと同時期に演奏家として活躍した。レジスさんは「川棚に来てみてコルトーが一生住みたいという気持ちがあった。ホールの音響が良く、聴衆も興味を持って聴いてくれて幸せだった」と話した。



プレスリリースに関するお問合せ先 ※画像データご入り用の場合も下記へ

川棚温泉まちづくり株式会社（下関市川棚温泉交流センター指定管理者）担当：増田玲子 masuda@kawatana.com

〒759-6301 山口県下関市豊浦町大字川棚 5180 Tel.083-774-3855 Fax.083-774-3856 kawatananomori.com